



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



ロザリオの聖母を祝別し感謝ミサ

大柵教会(小宿小教区)が宣教五十周年を祝う

小宿小教区(主任司祭ドゥン神父)の巡回教会・大柵教会が宣教五十周年を記念し、十月七日(木)感謝のミサをささげ、聖堂入口に安置された聖母マリア像の祝別を行った。



大柵地区で宣教が始まったのは一九六〇年のことで、この年の六月ルカ神父と聖心教会の聖母の騎士会員数人が家庭訪問による宣教を始め、その年の八月になると日本語学校を卒業し奄美大島に帰島したルーシオン神父が栄浩一伝道師とともに本格的な宣教に乗り出したのだ。大柵に聖堂が建てられたのは一九六一年七月で、ロザリオの聖母を守護の聖人とした。

宣教五十周年の感謝ミサは、このロザリオの聖母の記念日にささげられ、小宿小教区内外から宣教司牧に尽力した司祭、修

道者らも参列し、これらも小教区信徒が言葉に生き、助け合いながら一致を強めていけるよう聖母の取り次ぎを祈った。

より活動的な宣教の姿は?

財政面から小教区・教区の未来を探る

—11月3日の教区評議会で—

十一月三日(水)開催の教区評議会は「教区財政を知り、考えよう」がテーマ。七月の司祭評議会でのテーマが決められて以来、各小教区では教区会計の仕

組みと小教区会計とのかわりなどについて学習がされてきたほか、小教区・教区で使うべき費用とは何なのかについて分かち合われているようだ。

もちろんこの日の会議では教区が目指す宣教活動への費用・支出がどの程度必要なのか考えなければならぬが、それは小教区における宣教活動を無視してできるものではない。それは小教区一つひとつが教区に生きた細胞であるからだ。言い換えるならば、小教区における宣教活動のあり方そのものが教区の宣教の

新風

十一月は死者の月です。教会では典礼で一日に「諸聖人」、二日に「すべての死者」そして最後の主日に「王であるキリスト」をお祝い

人間の死と洗礼の恵み

その意味は洗礼の恵みを受けた者の人生の最終目的地を明確に思い出させること、また先に神のもとに召された人たちとの絆を強めることです。

「諸聖人の祝日」で私たちは教会が公に天国に行ったと宣言された人たちを祝い、彼らの執り成しを祈ります。「すべての死者の日」には天国に召されたかどうか不明な人たちのために主の憐れみを祈ります。「王であ

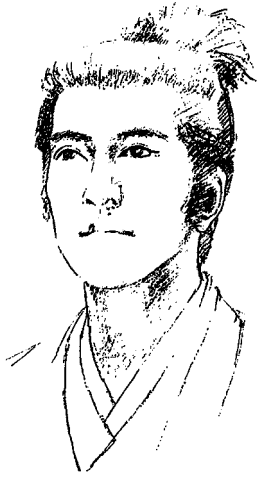
るキリストの祝日」では罪と死に勝利したキリストを称え、私たちがキリストによって、この世に始められた神の国の証人になれるよう霊的力を願います。ところで、十一月十七日は福者レオ七

しように、洗礼を受けてどうしても獲得しなかったものは何だったのか、命を賭けてまで失いたくなかったのは何だったのかを私たちに問いかけていると思います。それは洗礼の恵みです。罪と死から解放され、神の子とされることです。神の子どもなら神の国の世継ぎです。神の国の世継ぎとは、放蕩息子のたとえの中で父親が長男に言ったことば、「子よ、わたしのものは全部お前のものだ」(ルカ福音書十五章31節)を指しています。福者レオ七右衛門さま、私たちがもっと深く御父の愛を知ることができるように御父に取り次いでください。(H・N)

福者レオ七右衛門殉教祭

11月14日(日) 川内教会

13時 講 演
中野裕明神父(教区本部)
演 題: 「聖ザビエルから福者レオ七右衛門へ」
14時 ミ
15時 巡 礼(京泊教会跡地へ)



参加者募集

日韓学生交流会
第十七回「カトリック日韓学生交流会」が来年二月十七日から二十二日まで韓国の馬山教区で開かれる。テーマは「すべての人を一つにしてください」。

日韓学生交流会は、韓国と日本の司教団の呼びかけで一九九七年のワールドユースデーパリ大会時に始められたもので、歴史の壁がある両国の学生の交流が和解と平和の実現につながるという思いを持って続けられている。ホームステイや文化交流、祈りの会、分かち合いなどで心の交流を図る。日本からの参加者は二十五人限定。参加費は一万五千円でこれに交通費(実費)の負担がある。申込・問合せは松村繁彦神父(大阪教区) E-mail: hikok34@yahoo.co.jp まで

第二回アジア巡礼

訪問地: ベトナム
出 発: 3月21日
団 長: 郡山司教
主 催: 教区巡礼委員会
詳細は来月号で

YET

守護の天使の記念日に三歳になった息子・寛大。その寛大が出勤時にしきりに「パパ、遊ぼう」とせがむようになった。日課にしている早朝のランニングから帰ってくるやたらとまとわりついてくるし離れようとしない。そしてついには手を握って離さなくなる。親としては嬉しくもあり、彼の悲しみが感じ取られて切なくなる。▼ひと月ほど前、会社を経営する知人から頼まれて家内がそこを手伝うことになった。手伝うと言っても週に二日ほどのこと、でもその日は息子を保育園に預けなくてはならない▼保育園に預けられる初日「寛大君、お兄ちゃんだから泣かないよ」と強がっていたチビだが、その日が来るとまるで今生の暇乞いのように、泣き出すという始末。しきりに「パパ」につきまとうようになったのは、なんとかその受難から逃れようとしたことらしい▼チビの物憂げな表情や涙を見ていて五十年ほど前の自分の受難を思い出した。事情があつて保育園に預けられたとき、その場を去っていく父の自転車を泣きながら追いかけたのだ。自分から消えかけていたその種の悲しさの感覚を今、チビから思い出させてもらった▼大人でも子どもでも悲しみは同じ。体が小さいからといって、悲しみが軽くてすむわけではない。親としての、大人としての責任をひしひしと感じた。そして「父なる神よ」などと言いながら、教会から離れていても、息子が親から離れるときに感じる不安ほど、自分がそう感じていないことを残念に思った。

I 主任神父様の歓迎の言葉(阿久根教会：山口神父様)

II 祈りで始めます。特に三位一体の神を信じ、従う恵みを求めて代表者が祈ります。

前回に続き、『信仰宣言』の「子」の(用)受肉について神学的にどのように捉えたらいのか、今回も学びを中心としながら深めて行きたいと思えます。参考文献としては「カトリック教会のカテキズム」(カトリック中央協議会発行、二〇〇二年発行)、『信仰宣言』のカテキシス(福音宣教誌、竹山昭神父)を使用致します。

② 受肉について(前掲書四五六一―五一一項参照)使徒信条「父のひとり子、私たちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ」

教会は神の御子がわたしたちの救いを実現するために人性をとられたことを「受肉」と称しています。受肉の目的はわたしたちを神と和解させて救うため(四五七項)、わたしたちが神の愛を知るため(四五八項)、わたしたちの聖性の模範となるため(四五九項)、わたしたちを「神の本性にあずからせる」ため(四六〇項)です。

「受肉」が意味していることは「神性と人性」という二つの本性が混同することなく、イエス・キリストのうちに結合している(四八一項)という受肉の神秘を宣言しています。

「時が満ちて、神はマリアに天使ガブリエルを通して神の子を宿すことを望まれました。マリアは『わたしは男の人を知りませんのに』と尋ねますが、それは聖霊

によるものであるという神の答えがなされます。(四八四項)「マリアは処女性のしるしである少しも疑いの曇りない信仰と神のみ旨への純粋な自己奉獻という特質を備えているという意味で、処女です。マリアが幸いなのは救い主の母だからではなく、キリストへの信仰を自分のものとしたからです。(五〇六項)「マリアは教会の象徴であり、それを完璧に実現している意味で、処女であり、母でもあります。」(教会憲章六三)(五〇七項)

「いのちの与え主である聖霊は御父の永遠の御子をマリアと同じ人間性を持つ者として宿すようにしたのです。」(四八五項)「マリアの処女性は、神のみが御子を受肉させて下さったことを意味している。

北薩地区宣教奉仕者(信徒使徒職)養成講座

信仰宣言を神学的に捉える③

出水教会主任司祭

大松正弘

リストの神性よりも人性を否定する派(グノーシス派の仮現論)、キリストが神の養子とされたと考えた派(サモサタのパウロ)、「神の御子が無から造られた者であり、父とは「別の実体ないし本質」から造られた」と主張した派(アリウス派)に対して三二五年ニケヤ公会議は「造られずして生まれ、父と同一実体のもの」であると宣言しました。(四六五項)キリストにおいて人間としてのペルソナが神の御子の神的ペルソナに結合されているという派(ネストリウス派)にはアレキサンドリアの聖シリロと四三一年のエフェソ公会議が「み言葉は、そのペルソナのうちに理性的魂によって生かされる肉体をご自分と一つに結び合わせて人となられまし

です。…中略…二つの本性において、混合、変化、分割、分離せず存在します。」というように教会はイエス・キリストをまことの神であり、まことの人であると宣言してきました。(四六七項)『現代の我々にとって奇異に思われ、キリスト者でない人々にとつては「信じ難い」と言われがちな「おとめマリアより生まれ」(原文通りには「処女マリアより生まれ」という一句も、元来、いわゆる「処女懐胎」の事実を主張するのが目的ではなく、「イエスが他の人間と同じものである事を強調するため(Wカスパー)であった。」というのもキリスト教がギリシャ・ヘレニズム世界に広がって行く過程で、物質的世界の拘束から自己を解放する

ます。イエスの父は神だけです。(ルカ二・48)神性においては本性上御父の御子であり、人性においては本性上その母の子ですが、二つの本性においてまさしく御子なのです。(フリウリ教会会議七九六年または七九七年)(五〇三項)

「カトリック教会がマリアについて信じていることは、キリストについて信じていることに基づいています。また一方では、マリアについての教会の教え(神の母、おとめマリア、無原罪の宿り)が、キリストへの信仰を解明しています。(四八七項)

「神の御子が人性をとられたこの受肉は初期の時代から様々の異端によって歪められる危険を孕んでいました。キ

た」と宣言しました。またこの公会議で「マリアが神の母であるのは、神のみ言葉がマリアから神性を受けたのではなく、神のみ言葉が、理性的魂を備えた聖なる肉体をマリアから受けた」としてマリアが「神の母」であることを宣言しました。(四六六項)キリストにおける人性が神の御子の神的ペルソナの性に高められ、もはや人性として存在しないとする派(キリスト単性論者)に対しては四五年カルケドン公会議は「主イエス・キリストは神性と人性を完全に所有し、真に神であり、同時に理性的魂と肉体から成る真の人間です。神性においては父と同一実体であるとともに、人間性においては罪を除いてはわたしたちと同一実体

ことよって救われるとするグノーシス主義に影響を受けた人々がキリストの身体性を認めない仮現論者という異端とたたかう必要性があった。新約聖書でも後期のものとされているヨハネの手紙(一ヨハネ四・2、二ヨハネ七)にはこの種の考えへの対応が見られ、アンティオケのイグナチオの手紙(トラリア人へ九・10)、十五世紀半ばのフロレンス公会議の宣言なども常にこの類の誤謬が教会を脅かしていたことがうかがえる。イエスが真にわれわれと同じ身体を持った一人の人間であることを宣言し、告白するのは、受肉の神秘は、キリスト教を非キリスト教から区別するのみならず、キリスト教と反キリスト教を画する神秘

今回の信仰宣言の内容の『子』についての②「受肉」についてののみ深めていきました。信仰の神秘であるこの受肉はこの限られた紙面ではわずかに掘り下げることができませんでした。信仰宣言の内容を理解することは聖書全体から「三位一体の神」について神学的に理解することにほかなりません。その意味で『信仰宣言』は信ずべき内容が短くまとめられた、誰でも覚え易い、信仰の先輩たちからの遺産です。この遺産をより深く、大切に次の世代に伝えていくことは現代に生きるキリスト者の使命だと思えます。次回③「死と復活」について学んで参りたいと思います。《感謝の祈り》参加者の誰かが自分のことばで感謝の祈りをささげる。次回は十一月二十一日(日)十四時から、大口教会で行われます。

+KABAYAN SEKSIYON+ "PAGBUBO"

Tinalakay sa paglalahad na ang mga hamon sa tunay na pananampalataya ay maaaring manggaling sa alinman sa tatlong pangunahing makatotohanang dimension ng doktrina, moral na pamumuhay at pagsamba. Ang mga hadlang ay tumatalakay nang tiyak sa ating Pananampalataya sa pagsasabuhay natin nito sa ating tanging personal at panlipunang kapaligiran. Tayo'y mga Pilipino ng ikadalawangpung siglo na nabubuhay sa isang particular na kalalagayang pangkabuhayan, pampulitika, panlipunan, pangkultura, at pangrelihiyon. Nagkakaroon ng mga malilina na "mukha" ang mga hamon sa tunay na pananampalataya. Nasa magiting na pagharap sa mga ito nang sama-sama sa ating mga Kristiyanong sambayanan na tayo'y tumutugon sa mapagmahal na tawag ni Kristong ating Panginoon.

Kung hindi tayo "maniniwala" sa pangunahing doktrina ng mga Katoliko, tiyak na hindi tayo magiging masigasig sa pagtupad sa mga pangunahing alituntuning Moral ng Katoliko o makibahagi nang makahulugan sa Katolikong Pagsamba. Maging dahil man ito sa pagmamataas, pagdududa o manhid na pagwawalang-bahala, hindi tayo magtataglay ng maraming masasamang bunga para sa mga indibidwal na tao, mga pamilya at sa kalakhang sambayanan.

Kaya hinihiling natin sa Diyos na "tulongan tayo dahil sa kawalan natin ng pananampalataya" bilang tanging paraan ng dahan-dahang pagdating sa "katotohanan" ng ating mga sarili, ng ating mga kapwa, at ng Diyos, sa ating mga pag-iisip, sa ating maayos na pagkilos, at sa ating panalangin. Tanging kay Kristo lamang at sa Espiritu Santo tayo patuloy na makatutugon sa mga hamon ng "buhay kay Kristo" ngayon.

Kung buo ang ating pananampalataya, higit nating malalaman ang katotohanan na ang Diyos na ating sinasamba ay buhay at palaging kasama natin sa ating mga Gawain, lalung-lalo na pag mayroon tayong mga pagsubok na nararanasan at hinaharap. Subalit ang hindi buong pananampalataya ay hindi maunawaan ang lahat ng mga nangyayari sa ating buhay. Kaya higit nating palakasin ang ating pananampalataya sa Diyos.

[和善の窓から] その⑬ 聴く・聴かれる

松田清四朗神父 人は誰かの「助言」や「お説教」によって自分の人生を変えることはないと言われます。人の話に付き添いながら、本当にそうだと実感します。 助言というものは、聞いたことに対するこちら側(僕です)の「おせっかい」です。私は、話し手の話の流れに付き合うことの方がいいと思っています。 話の流れに付き添っていると新しい気付きが起こります。その時は、こちら(僕のことです)だって嬉しくなります。 自分の話に付き添われるという体験は、日常生活ではほとんどないでしょう。(聴かれる)ということは、現代特に必要なことです。



「WAZEN ころ相談室」で、「聴かれる」という体験をしませんか。反論も分析も批判も指示も…なく、まず静かに深く聴かれる必要があります。

～和善の案内～ 何時からでもどなたでもどうぞ!

- ※月 18:30
※水 14:00 (第2,4於始良) ※WAZEN ころ相談室(第1・第3 要予約 10:00~15:00)
※金 10:00
※11月20日木曜日 17:30: 和善ミサ(本部三階チャペル)
※11月27日土曜日「私の闘病体験」10:00(本部三階和善教室)
(http://mr826.net/wazen/blog)

軒の塗装作業を終える

大熊小教区の浦上教会



り、その傷みを何とかしようという事になりました。そして早速九月二十六日(日)に小教区のヨゼフ会員によって、その修理作業が行われました。業者にお願いすればもつと楽だったのでしようが高

「短信」

九州大会で白百合の寮優勝

八月十九日(木)、二十日(金)大分市で開かれた九州地区児童福祉施設球技大会(西日本新聞民生事業団など主催)の男子軟式野球に鹿児島県代表として出場した「カリタスの園」白百合の寮(大水スエ子施設長)が、見事優勝に輝いた。同寮の優勝までの試合ぶりは次の通り。▽一回戦 白百合の寮6-1天使育児園(福岡県)▽二回戦 1-0菊水学園(熊本県)▽準決勝 白百合の寮3-0済昭園(佐賀県)▽決勝

三代目となる浦上教会(大熊小教区・主任司祭アン神父)の聖堂は、一九八四年七月に落成。献堂され「ルルドの聖マリア」を保護者として頂いています。しかし、献堂から四半世紀が経過したのを機に赤塚欽弥信徒代表が建物を点検したところ、雨水にさらされている軒の傷みが目につきました。そこで司牧評議会に諮り検討した結果、ペンキを塗

奄美大島では私が高三の時、初めて本土への進学が認められました。私は文型でしたが、家が薬店をしており薬剤師が必要だったので岐阜薬大に進んだのです。岐阜は雪の多い所で、市電がストップしたりすると、ミサに行くのに十数キロ歩かなければなりません。卒業後は実家で薬剤師として五年働きました。母校に化学の教員がいないというので私が勤めることになりました。学校では授業の合間にクリスマスや復活のことを話しました。カトリック青年

額の経費もかかります。そこで足場器材だけはリースし、その他の作業をヨゼフ会が奉仕作業で何とかしたのです。当日は丸一日の作業となりましたので、婦人会員は昼食を用意してくれました。「自分たちの教会は自分たちで守る」信徒たちも嬉しそうでしたが、主任司祭の笑顔は特に素敵でした。(報告 平三國)

白百合の寮3-0聖母の騎士園(長崎県) ▼加世田聖母幼稚園(泉浩二園長)は、九月二十三日(木)南さつま市かせだゆ



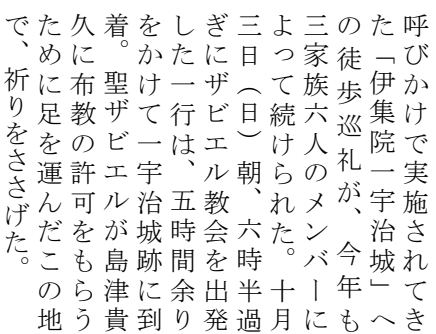
そして二十七歳の頃です。信者で、真面目できれいな娘さんと出会いました。しかしどのようになら近づけるのか分からず、彼女の職場に手紙を出したりなどしました。でも

めびか本町通りをメイン会場に開催された「南さつまかせだまつり」に新幹線成形にした手作りみこしで参加し、その様子が読売新聞でも紹介された。(写真は読売新聞の記事から転載) ▼アルフォンソ合唱団 九月十六日から十一日間、ヨーロッパに出かけた谷山教会のアルフォンソ合唱団は、ドイツ三か所、イタリア一か所での公演を終え、九月二十七日帰国した。



という事になったのです。彼女は思っていた通り信仰深く、ロザリオの祈りも彼女に教わりました。そのロザリオを私は毎日一環唱えています。彼女は三環です。私の欠点も次々に変えてくれました。そして助祭になれたのも彼女のお陰だと思っています。彼女は私の指導「女(助)祭」のようです。

▼韓国の聖歌隊が来鹿 十月三日(日)ザビエル教会の主日のミサに韓国から「アルス・ノバ(新しい芸術)」という名の教会音楽



少し折って願い事をし、それが叶えられないとやめてしまう人がいますが、私のように三年も祈り続ける神様も「叶えてやるか」と思われたようです。

鹿兒島教区の皆さま、聖堂再生プロジェクトへの後支援ありがとうございます。左官工事に時間がかかりましたが、やっと正面が完成しつつあります。工事が遅れ、来年四月の完成は無理のようですが、努力しております。そして四月十日(日)午後二時から外観の祝別式と聖堂再生プロジェクト四年間の歩みの締めくくりを実施する予定です。



旧ザビエル聖堂再生について 土田充義代表からの報告

ご案内

- スピリチュアル黙想会「イエズスの霊に生かされて」W・キップス神父 11月13日(土) 10時~14日(日) 16時 マリア山荘 参加費:10,000円(宿泊代込み) 宮地TEL 099-262-4022
- 坂本神父の勉強会「体力作りと健康作り(養成)」11月15日(月)10時~12時 ザビエル教会一階ホール 参加費:500円

11月 会と催し	
1日(月)	諸聖人
2日(火)	▼大口明光学園創立五十周年式典・9時30分 死者の日
3日(水)	教区評議会・ザビエル教会・10時~15時
7日(日)	年間第三十二主日
9日(火)	ラテラン教会の献堂
10日(水)	▼柳本繁春神父霊名(聖レオ一世教皇)
14日(日)	▼ガブリエル神父命日(一九七八年)
15日(月)	▼福者レオ七右衛門殉教祭・川内教会・13時
16日(火)	▼奄美司祭会
20日(土)	三木巖神父命日(二〇〇〇年)
21日(日)	▼死者のためのミサ・カトリック唐湊墓地・10時
23日(火)	▼王であるキリスト
27日(土)	▼聖週間・28日まで
28日(日)	▼シドゥッチ祭・屋久島教会と屋久島小島公民館・9時
30日(火)	▼カタリナ祭・種子島教会と西之表市民公民館・ミサ(9時)墓前祭等(12時30分)
	▼待降節第一主日
	▼聖アンデレ使徒

1 カタリナ祭

十一月二十八日(日)、種子島教会において、カタリナ祭が開かれます。薩摩十八代藩主島津家久の義母であり、キリシタン大名小西行長の娘と

「教令が發布されてから二十二年間、禁教下にあってもカタリナ夫人は信仰を棄てず守り抜きました。藩主家久は、奥方である桂安夫人の実母にして、次の十九代藩主となる光久の実祖母であり、人望と実力を持っていたカタリナ夫人に対して、なかなか断固とした処置を取ることができませんでした。しかし、遂に、一六三五年(寛永十二、種子島配流を決めたのです。

ているところがあるのです。東京教区で毎年五月に開催している「ジュリア祭」は、このおたあジュリアを追悼するお祭りです。そのジュリアは、カタリナ夫人が小西行長の娘であったとするなら、この二人は、行長の領地であった肥後(熊本)で、一時期、共に過ごしたということになります。

にしようとしたがジュリアはこれを断ってしまいました。すると家康は「では大奥女中・侍女として仕えるように」と命令したのです。ジュリアはこの命令には従いませんでした。

かつた女性の生き方に、人間としての尊厳と清楚さを保たせる生き方が、キリシタンの生き方の中にあることを、ジュリアは大奥の侍女たちに伝えました。家康は、ジュリアの人格を認めていたことから、布教の自由を彼女に与えていたのです。天下人である家康に、その人格を認めさせるほどの信仰と仁徳をジュリアは持っていたのです。

ながら、清らかな祈りの生活を送ったのだと思います。谷真介先生の『ジュリアおたあ』の本の中には、ジュリアについて、こういう言い伝えがある、と記されています。

薩摩藩家老伊勢貞昌が同僚に宛てた手紙の中に「カタリナ夫人とその一行は、種子島において法華宗になったといっても、本心はキリシタンを固く信じている、とみなが申しておる」という資料が残されています。

カタリナ祭と

カタリナ永俊尼の信仰(上)

種子島教会主任司祭 坂本 進



キャラクター「カタリナちゃん」マスコット

毎年十月十日、種子島カトリック教会では、信徒の方々が種子島家にあるカタリナ永俊尼のお墓に詣で、追悼の祈りをささげることを恒例としていました。今年も、西之表市(種子島)と新教のキリスト教会と

ていました。でも、効果はありませんでした。出家していても、鹿児島にいる間は、追われているキリシタンや豊臣方の残党などを匿い、カタリナ夫人のキリシタン信仰の心は温存されていたのです。しかし種子島に配流された後は、もはやそうすることはできません。

ら日本へジュリアを護送させ、国元の領地肥後に送り、賢婦人として名高かった妻のジュスタ夫人に養女として育てさせたのです。生来の聡明さ、美貌に加え、ジュリアには、小西家で培われたキリシタンの信仰が備わり、清楚さ・敬虔さが輝きを放って行くようになります。

よって、ジュリアが思い直して棄教し自分のもとに戻って来てくれることを希望していたようです。しかし棄教せず、神津島に流されて四十有余年、六十歳で死んだと言われています。

ジュリアの信仰に生きる姿に心洗われる思いがしたのでしよう。しかし、間もなく二人は島替えになりました。ジュリアも最後の流刑地神津島に島替えになりました。

カタリナ永俊尼が種子島に配流されてから、彼女がキリシタン信仰を堅持していたということとを証しさせるものが二つあります。今年三月、南日本新聞紙上に、作家の桐野作人氏が書かれていたように、薩摩藩家老の手紙と種子島にあるカタリナ夫人の墓の横面に刻まれている碑文がそれです。

これら研究の成果を踏まえながら、次回『カタリナ祭とカタリナ永俊尼の信仰・下』において、カタリナ夫人の出自、カタリナ夫人と小西行長の旧臣・益田父子によって起された天草の乱との関係、種子島配流後の生活などについて、ご報告したいと思っております。

2 カタリナ永俊尼

カタリナはキリシタンの洗礼名です。キリシタン大名小西行長の血を引いた彼女は、小西一族の固い信仰の中で、その人格形成が育まれていきました。

島津一族に嫁いでから(十六代藩主義久の室であったという説、一族の島津忠清の妻という説、その他の説があります)、江戸の薩摩屋敷においても鹿児島

やがて、関ヶ原の合戦(一六〇〇年)が起り、父の行長は斬首。家康は、小西一族の男は殺せましたが、ジュスタ夫人をはじめジュリアなど女たちは、そのまま伏見の小西屋敷に住まわせたのです。

間もなく家康は、ジュリアの聡明さと美貌の噂を耳にするようになります。会うに及び噂通りだったので、ジュリアを側室

純心学園 川上 和
暁の影絵三ツ山空澄みて賛歌のこだま秋風にのる
鹿兒島市 田平新太郎

純心学園 川上 和
暮れ泥む空を遠くに眺むれば心清しき学園の十字架の光がいざなひぬ
詩に 歌に 句に
心を寄せる眼がうかび
親しみ合える声が伝わる

鹿兒島市 田平新太郎
東歌を口遊みながら
火点し頃の里人の
ほほえむ心を写していると
物心がついた頃に
指折り詠んだ歌が浮かんでくる
あの 故郷の夕暮れの詩が
小さな声で呼んでいる

3 おたあジュリア

おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

ています。おたあジュリアについても、同じことが言えると思います。この二人には、流刑後の境涯に似

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

川家康によってキリシタン禁

文芸

短歌

詩

- 霧島市 政 ノブ子
愛光園 春山マリ子
鹿兒島市 徳永ノブ子
純心学園 山頭 信子
崎津浜アルメイダ碑はやいとばな
出水市 沖 弘子
巡礼の山のチャペルの秋深し
純心学園 川上 和
秋桜召されし友の墓に添え
鹿兒島市 田平新太郎
安んじる祈りの心尊とばむ

- 純心学園 川上 和
暁の影絵三ツ山空澄みて賛歌のこだま秋風にのる
鹿兒島市 田平新太郎
東歌口遊みつつ偲びをり日暮るる丘に入りゆく光を
大笠利 稲 牛憲
信号が青に変わって胸を張り渡り終へて後猫背に戻る
愛光園 春山マリ子
電灯の灯が照らす幸せは幼いあの頃夢の国かな
鴨池教会 前田 儀子
痛む足いたわり横たわる病室で神父さまよりご聖体を頂く

- 鹿兒島市 田平新太郎
暮れ泥む空を遠くに眺むれば心清しき学園の十字架の光がいざなひぬ
詩に 歌に 句に
心を寄せる眼がうかび
親しみ合える声が伝わる
東歌を口遊みながら
火点し頃の里人の
ほほえむ心を写していると
物心がついた頃に
指折り詠んだ歌が浮かんでくる
あの 故郷の夕暮れの詩が
小さな声で呼んでいる